



# 科学の楽しさと大切さ

## ～私の経験から～



東京大学宇宙線研究所の梶田隆章先生は、長年にわたり基礎科学の最前線で研究を続けてこられ、ニュートリノ研究により2015年にノーベル物理学賞を受賞されました。また、日本学術会議の会長として、学術と社会の関係構築にもご尽力されました。本講演では、そのご経験をもとに、科学の楽しさと大切さ、学ぶことについてお話しいたします。

### 梶田 隆章 氏

東京大学卓越教授(宇宙線研究所)・特別荣誉教授

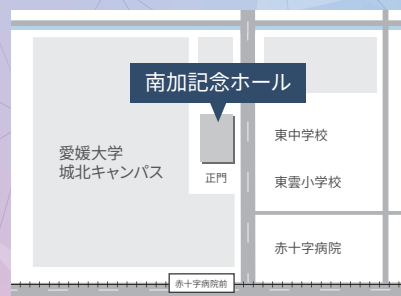
#### PROFILE

1959年埼玉県生まれ。史上初めて、銀河系外から飛来した「超新星ニュートリノ」を観測した「カミオカンデ実験」、それまで質量ゼロと考えられてきたニュートリノに「質量がある」ことを明らかにした「スーパーカミオカンデ実験」に参加。  
1998年、ニュートリノ質量の発見を、研究グループを代表して国際会議で発表。  
2015年、「ニュートリノ質量の存在を示すニュートリノ振動の発見」により、アーサー・B・マクドナルド氏(SNO実験)とともに、ノーベル物理学賞受賞。

2026 7/29 水 16:30開場 17:00～

愛媛大学 南加記念ホール  
愛媛県松山市文京町3(城北キャンパス)

参加無料・事前登録制



**対象** 愛媛大学教職員・学生、市民一般

**形式** 対面・オンラインのハイブリッド

**定員** 対面:250名程度/オンライン:先着300名

**主催** 愛媛大学先端研究院

参加登録フォーム

